

千羽鶴の思い出も一緒に  
中学校を卒業

須恵中学校（結城慎一郎校長）の3年生に昨年10月、匿名で5つの千羽鶴が贈られました。

これは、同校の近所にお住まいのおばあちゃんが、「3年生生徒の進路実現を祈って…」と届けられたものです。善意の贈り物に、卒業式を前にした3月、生徒たちからおばあちゃんへのお礼の手紙が寄せられましたので紹介します。

そして、生徒たちは3月14日（金）に、千羽鶴の思い出を学校生活の1ページに刻んで、中学校を卒業していきました。



たくさんの素敵な思い出を胸に  
須恵中学校を卒業していった生徒たち

須恵中学校に届けられた温かい贈りもの

平成19年の秋、私たち3年生に5つの千羽鶴を届けてくださった方がいました。3年生5クラスのそれぞれの教室に大切に飾ることにしました。

私たちは、その温かい思いの詰まった千羽鶴を見ながら日々勉強に励んできました。教室をふと見上げると目に入る千羽鶴は、受験勉強で疲れている私たちの心を癒してくれました。おかげ様で、私たちの受験勉強は順調に進みました。

また、受験だけではなく、色々な場面で私たちの心の支えとなってくれたことを忘れません。そんな千羽鶴を届けてくださった方へ感謝の気持ちを伝えることが遅くなって、申し訳なく思っていました。

この私たちの感謝の気持ちが届くころ、私たちは中学校を卒業し、新しいスタートを切っていることなのでしょう。

その時、私たちはこの千羽鶴に込められた思いを胸に頑張っていこうと思います。

世間では、心ない出来事や批判を耳にすることが多い中、人の優しさや思いやりの心の大切さを学ぶことができました。「ありがとうございます」という言葉だけではとても足りませんが、私たちの感謝の気持ちが伝わることを願っています。

いつまでも私たちの胸に残る素敵な千羽鶴と、素敵な思い出をありがとうございました。

平成19年度 須恵中学校 第61期 卒業生一同

アザレアFC  
最高のプレーで有終の美!!

第6回志免町長杯少年サッカー大会が、3月15日（土）・16日（日）に志免西小学校などで行われました。

この大会に、須恵アザレアFC（有働幸生監督）が出場して、県内の強豪チームを破って見事優勝に輝きました。

予選リーグを突破した同チームは、決勝リーグでも大観衆が見守る中で、ハットラッププレーを披露しました。

有働監督は、「6年生は、最後となる今大会、今までの中で一番最高のプレーをしてくれました。この6年間いろんなことがありましたが、須恵アザレアFCで学んだことを忘れず、中学生になっても頑張ってください。」と話されていました。



最高のプレーを見せた子どもたち

15人の新戦力が  
消防団に加入

平成20年度須恵町消防団入退団式が、3月30日（日）にあおば会館で行われました。

今年度は、新副団長に長澤慎二氏が就任され、吉本孝治分団長の他、8人の分団長が退任されました。また、15人の新戦力が須恵町消防団に加入しました。

感謝状を受けられた人たちは、次のとおりです（敬称略・順不同、（ ）内は分団名）。

- 退団 ○吉本孝治（新生）○諸石豊（本部）○御供田康雄（飛越）○中牟田健（上須恵）○瀬々秀昭（新原）○百田健一（佐谷）○舛本直明（須恵）○今泉重徳（甲植木）○松元純一（乙植木）



力強い宣誓を行う新入団員

十一面観音 ご開帳

佐谷建正寺の「木造十一面観音立像」のご開帳が、4月6日（日）に行われ多くの人たちにその姿を見せました。

この像は、平安時代後期に伝教大師によって彫られたと伝えられ、県指定有形文化財（彫刻1号）に指定されています。

この日は、おだやかな天候に恵まれたたくさんの人たちが訪れていました。そして、見ごろを迎え見事に咲いたしだれ桜の下で、地元の人たちによる食事の接待や子ども会による奉納相撲などが行われてにぎわいました。



好天に恵まれたたくさんの方が訪れたご開帳

地域振興の一助に

「創立35周年記念事業の一環として、お世話になっている須恵町のまちづくりに…」と、3月17日（月）に喜楽鋳業株式会社（小宮山雅弘代表取締役）から、本町に多額の寄附がありました。

同社は、新原工業団地内に営業所があり、この寄附は長年にわたり続けられているものです。

小宮山氏は「須恵町の地域振興の一助に些少ではありますがお役にたください」と話されていました。



「須恵町の地域振興に」と小宮山氏（左）